

筑波大学大学院 博士後期課程
理工情報生命学術院 生命地球科学研究群 農学学位プログラム

NARO連係先端農業技術科学 サブプログラム

Doctoral Program in Agricultural Sciences (Subprogram in Advanced Agricultural Technology and Science cooperated with NARO),
Graduate School of Science and Technology, Degree Programs in Life and Earth Sciences,
University of Tsukuba



革新的生産品質管理システム研究分野

Innovative Crop Production and Quality Control System



革新的家畜生産システム研究分野

Innovative Animal Production System



革新的育種栽培生理システム研究分野

Innovative Crop Breeding and Cultivation System



国立大学法人
筑波大学
UNIVERSITY OF TSUKUBA

NARO連係先端農業技術科学サブプログラム

■ 本サブプログラムの概要

現在日本の農業は、食料の安定供給、食の安全性、環境負荷の低減等を実現し、かつ農業生産力の向上と農業体質を強化することが求められており、研究現場ではこれに資する農業生産技術の開発を総合的・効果的に進めることが強く期待されています。このためには、先端農業技術を考究し、十分に現場で応用できる人材の養成が必要です。

本サブプログラムは筑波研究学園都市に位置する国立研究開発法人「農業・食品産業技術総合研究機構（農研機構）」に在籍する研究者が連係大学院教員として運営に当たっており、農学学位プログラムの中のサブプログラム<NARO連係先端農業技術科学サブプログラム>として位置づけられています。革新的生産品質管理システム、革新的家畜生産システム、革新的育種栽培生理システムの3つの研究分野があり、前掲の人材を養成し社会に送り出すことを目的として、博士前期課程（修士課程）までに学んだことを当分野に活かして発展させようとする学生を対象に研究指導を行っています。

■ 本サブプログラムの特色

- ・ キャンパスは国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
- ・ 指導教員は農業技術・科学分野の最先端を行く研究者
- ・ プロジェクト型研究への参加
- ・ 研究所・研究室が提供する最適で強力な研究・指導体制
- ・ 社会人の方は現在の研究や仕事を続けながら博士号を取得可能

■ 研究分野の紹介



革新的生産品質管理システム研究分野

Innovative Crop Production and Quality Control System

- ・ 田中 剛 ゲノム情報の育種利用に向けた種間比較解析、分子進化研究
- ・ 光永 貴之 統計モデリングを用いた病虫害発生予測システムの構築に関する研究
- ・ 木村 俊之 LC-MS/MSを用いた高度分析の農業研究への応用に関する研究
- ・ 深津 時広 ICT・RTを活用した農業生産支援技術に関する研究
- ・ 杉浦 綾 リモートセンシングや画像認識技術の農業応用に関する研究
- ・ 田中 大介 生物遺伝資源の長期保存技術としての超低温保存法に関する研究



革新的家畜生産システム研究分野

Innovative Animal Production System

- ・ 三森 眞琴 ルーメン細菌叢の構造・機能解析およびルーメン発酵の特性解析
- ・ 佐々木啓介 畜産物の品質・官能特性・消費者受容の評価と改善に関する研究
- ・ 遠野 雅徳 家畜生産における植物-微生物-動物各界の役割と相互作用の探究



革新的育種栽培生理システム研究分野

Innovative Crop Breeding and Cultivation System

- ・田中 淳一 ゲノム情報を活用した作物新育種法の開発に関する研究
- ・松井 勝弘 資源作物や未利用植物の効率的形質改良研究
- ・田口 和憲 根菜類のヘテロシスを活用した高性能品種育成と遺伝学的研究
- ・杉浦 俊彦 気候変動への対応に向けた果樹の環境応答性の解明
- ・立木 美保 果樹における果実の成熟・老化機構、鮮度保持技術に関する研究
- ・國久美由紀 リンゴ等果樹における大量ゲノムデータの育種への利用に関する研究
- ・小野崎 隆 花きにおける病害抵抗性育種と日持ち性の改良
- ・佐々木英和 露地野菜の安定生産技術開発に関する研究
- ・中山 真義 色素関連化合物の解析に基づいた花の色彩の制御

よくある質問

課程について

- Q1. 農学学位プログラム<NARO関係先端農業技術科学サブプログラム>と農学学位プログラムはどう違うのでしょうか？
- A1. 当サブプログラムは農学学位プログラムの中に設置されています。農学に関する研究指導を実施する点は同じですが、当サブプログラムの教員は全員が国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構(つくば市)に所属し、それぞれの分野の担当教員が所属する研究所で授業を行います。一方で、農学学位プログラムの教員は原則として筑波大学に所属し、筑波大学で授業を行います。

入学試験

- Q2. 入学試験はいつ行われるのですか？
- A2. 年2回(8月、1-2月)の実施を予定しています。詳しい日程は募集要項をご覧ください。
- Q3. 入学試験はどこで行われるのですか？
- A3. つくば市にある筑波大学キャンパスで行います。
- Q4. 入学試験を受ける前に何かすることはありますか？
- A4. 入学を希望される研究分野の教員と入学試験の願書提出前に、3年間に行う研究内容について打ち合わせをする必要があります。まずは、本サブプログラムの担当事務局に連絡を取ってください。
- Q5. 社会人枠はありますか？
- A5. 一般入学試験の他に社会人特別選抜を実施しています。
- Q6. 出身の学部・大学院は問われますか？
- A6. 原則として、出身の学部や大学院前期課程(修士課程)は問われません。詳しい内容は希望される分野の先生と事前にお話しいただくことになります。
- Q7. 修士号を取得していないのですが、受験できますか？
- A7. 出願前に出願資格認定審査において「本学において修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められる者」と判定された場合は、本サブプログラムを受験することができます。

教育活動

- Q8. サブプログラム以外が開設している筑波大学の大学院の授業は受講できますか？
- A8. 一定のルールのもと、可能です。
- Q9. 修了要件はどのようになっていますか？
- A9. 必修科目を3単位履修し、博士論文の審査及び試験に合格することです。論文提出にあたっては、在学中に査読付き英文筆頭原著論文1報以上を公表する必要があります。
- Q10. 修了したら、何の学位が授与されるのですか？
- A10. 博士(農学)です。
- Q11. 社会人なのですが、仕事との両立はできますか？
- A11. 修了までの単位が3単位で、集中講義で終わることもでき、研究所に常駐する必要はありませんので、仕事を続けながら履修することが十分可能です。実際にこれまでも多くの社会人学生が博士の学位を取得しています。詳しい内容は、希望される分野の先生と事前にお話しいただくことになります。
- Q12. 早期修了は可能ですか？
- A12. 可能です。通常3年の在籍が必要ですが優れた研究業績を上げた場合は1年以上の在籍で修了することができます。
- Q13. 奨学金はありますか？
- A13. 奨学金は通常の大学院と同様に、(独)日本学生支援機構奨学金等に応募することができます。
- Q14. 在学中にリサーチ・アシスタントとして任用されることはありますか？
- A14. 教員の研究補助として、選考によりリサーチ・アシスタント(非常勤職員)に任用される場合があり、勤務に応じて給与が支払われます。

